

# 第七一號

決行指定



決裁指定



保存期限

房官臣大		課局務主		大臣		件番受		政務次官	
了結	領受	出提	領受	號番		名	號	領	國附
昭和	昭和	昭和	昭和	航本		九四式	九四式	九四式	決裁
年	年	年	年	發第		式	式	式	後
五月	五月	五月	五月	二〇〇		百	百	百	課名
十一日	十一日	十一日	十一日	號		群	群	群	
(裁決)行決		帶		連		爆		參	
覽回後		長局		長局		彈		第	
長局						九二式		二	
						五百		四	
						群		二	
						爆		號	
						彈			
						假		起	
						制		元	
						式		應	
						圖		課	
						中		名	
						改		後	
						正		決	
						件		行	
								(	
								決	
								裁	
								後	
								回	
								覽	
								課	
								名	
								陸	
								軍	
								航	
								空	
								本	
								部	

陸軍

決裁案

首題兵器別紙修正表、通改正相成度

右決裁ヲ請フ

右決裁後左案決行

昭和七年五月二十二日

陸普

通牒

省副官ヨリ別紙配賦表ノ箇所へ

首題兵器別紙修正表、通改正セラレシニ付該修正表

並ニ關係圖書目錄、通送付ス

追而本改正製品(ニ器安瓦薬ヲ炸薬トセル爆彈)ハ制式名稱ニ(特)ト加へ

稱呼スル儀ト承知セラレ度

陸普第七九〇七號

昭和七年五月廿二日

昭和七年五月九日 附屬品送付済

送 付 目 録

陸軍假制式航空兵器圖(航空彈藥)中修正表

部

陸軍航空兵器細目名稱表(航空彈藥)中修正表

部

陸  
軍

九 二 十 五 式 炸 彈								主 名 稱
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	16	彈 書
〃	〃	〃	〃	④ 彈 丸	〃	〃	金 体	通 用 形
〃	引 線 部 品 書 類	平 面 夜 方 上 部	正 面 夜 方 平 面 左 方	正 面 夜 方 左 方	正 面 下 部	正 面 中 央	正 面 上 部	修 正 箇 所
⑤	⑤							現 行
⑥	⑦	〃	〃	〃	〃	〃	修 正 箇 所 ノ 類	訂 正
〃	通 用 部 品 書 類 ニ 係 ル	〃	通 用 部 品 書 類 ニ 係 ル	作 業 マ 容 易 ナ ラ シ ム ル 爲 メ	〃	〃	通 用 部 品 書 類 ニ 係 ル	理 由

陸軍省軍械部軍用兵器課  
（航空用）中修要表



陸  
軍

九 二 式 十 五 式 炸 彈											主 機 名	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	16	炸 彈
② 第二炸彈	① 尾吊環	① 筒小ねぢ	① 筒吊環	① 筒小ねぢ	① 筒小ねぢ	① 筒小ねぢ	〃	〃	〃	〃	① 彈丸	部品名稱
左方中央孔ノ環						部品番號					修正箇所	
85				②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	現 行
27	〃	〃	修正箇ノ環	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	訂 正
筒火薬筒ノ枚數ヲ容易ナラシムル爲	〃	〃	筒火薬筒ノ枚數ヲ容易ナラシムル爲	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	理 由

日本標準規格 B-4

九 四 式 五 十 五 號 爆 彈												
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	27	●
			④ <sub>0</sub> 吊環	④ <sub>6</sub> 底塞	●	●	●	④ <sub>9</sub> 彈丸			金 体	重量表及部表
	② 部品表 ③ 部品表 ④ 部品表	部品表		正 詳 細 圖 面	平 面 右 方 上 部	正 面 右 方	正 面 中 央	正 面 左 方	正 面 下 部	正 面 中 央	正 面 上 部	
	フ エ ル ト											
「 製作上ノ 注意ハ シ テ ハ ス ル 事 ハ ス 	「 製作上ノ 注意ハ ス ル 事 ハ ス 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	修正圖ノ通
	「 製作上ノ 注意ハ ス ル 事 ハ ス 	部品追加ニ伴ヒ	●	●	●	●	●	製作ヲ容易ナラ シムルヲメ	●	●	部品修正ニ伴ヒ	部品追加ニ伴ヒ

陸  
軍



式二九 彈燃延百五	式二九 彈燃延十五百二	彈燃延百式四九			
18	17	"	"	"	"
				①、 吊 環	①、 底 蓋
		① 底 蓋 裏 面 裏 面 裏 面	裏 面 裏 面		詳 細 圖 正 面
		フ エ ル ト			
"	引 替	フ エ ル ト 替 へ シ ル タ ラ ス	"	"	"
"	作 業 ヲ 容 易 ナ ラ シ ム ル 爲	フ エ ル ト 替 へ シ ル タ ラ ス 爲	裏 面 裏 面 ニ 伴 ヒ	"	"

陸  
軍



陸軍假制式航空兵器圖（航空彈藥）中 修正表				昭和 年 月 日 陸普第 號 改正		陸軍
主要兵器名稱	業番號	部品名稱	修正箇所	現行訂正	修正理由	
九二式十五疋爆彈					一葉追加	
九四式五十疋爆彈						
九四式百疋爆彈						
九二式二百五十疋爆彈						
九二式五百疋爆彈						
二號安瓦藥ヲ炸藥 トシテ使用ノ爲メ						

九二式十五厘米榴弾修正實施參考表

圖 番	修正 品 名	改 正 要 領	修正 區 分	備 考
16	彈丸 體	彈頭ねぢ付部ノねぢノ高サ二八純ヲ 二四純ト改メ換裝前ねぢ付部ノねぢ ノ高サト同一ニシテ作製率ヲ増進ス	第四種	
16	彈丸 彈頭	彈丸体トノねぢ付部ノ深サ一八・五 純ヲ一四・五純ト改メ彈頭小ねぢノ 位置彈頭底面ヨリ一〇純トアルヲ七 純ニ改ム	第四種	
16	彈丸 環了	外徑一〇〇純、内徑八〇純厚サ四純 ノ環了(TO)ヲ追加ス	第四種	
16	彈丸 側筒環 尾筒環	軸ヲボルトナツト式ニ改メ鍍金(外 徑八純、内徑四・五純、厚サ一純) ヲ追加シナツトハ上部ニ溝ヲ設ケ徑 一純、長サ一二純ノ側ピンヲ挿入ス ル如ク改メ作製ヲ容易ナラシム	第四種	

陸  
軍

九四式五十感煙彈修正實施參考表

類別	27	27	27
修正スヘキ品名稱	彈丸 吊環	彈丸 底蓋	彈丸 彈頭
改正要領	<p>筒管ねぢ付部ノねぢノ兼サ一三・五            耗ヲ内部ニ貫通スル如クねぢヲ切り            通シユシ作廢ヲ容易ナラシム</p> <p>筒管ねぢ付部ノねぢノ兼サ一三・五            耗ヲ内部ニ貫通スル如クねぢヲ切り            通シユシ作廢ヲ容易ナラシム</p> <p>軸ヲ球ルトナツト式ニ改メ底金（外            徑一〇耗、内徑六・五耗、厚サ一耗            ヲ增加シナツトハ上部ニ溝ヲ設ケ直            一・六耗、長サ一五耗）銅ビシヲ挿入            スル如ク改メ作廢ヲ容易ナラシム            底ノ長サ七〇耗ヲ六〇耗ニ改メ底ノ            最大値ヲ四箇ニ改ム</p>		
修正範圍	全部	全部	全部
區分			
備考			

陸軍

九四式百発爆弾修正實施参考表

圖面番 號	修正スヘキ 品名稱	改正要領	修正 範圍	實施 分	摘 要
28	彈丸 吊環	軸ワボルトナツト式ニ改メ座金(外 徑一五耗、内徑八・五耗、厚サ一耗) ヲ増加シナツトハ上部ニ溝ヲ設ケ徑 二耗、長サ二〇耗ノ側ピンヲ挿入ス ル如ク改メ作業ヲ容易ナラシム 座ノ長サ七〇耗ヲ六〇耗ト改メ鉄ノ 數六個ヲ四個ニ改ム	第四種		
28	彈丸 底塞	備管ねぢ付部ノねぢノ深サ一三・五 耗ヲ内部ニ貫通スル如クねぢヲ切り 通シニシ作業ヲ容易ナラシム	第四種		
28	彈丸 彈頭	備管ねぢ付部ノねぢノ深サ一三・五 耗ヲ内部ニ貫通スル如クねぢヲ切り 通シニシ作業ヲ容易ナラシム	第四種		

陸軍

九二式二百五十粒爆彈修正實施參考表

類別		修正スヘキ品名稱		改正要領	修正範圍	實施區分	摘要
(圖)	17	17	17	價管ねぢ付部ノねぢノ深サ一九・五粒ヲ内部ニ貫通スル如クねぢヲ切通シ作業ヲ容易ナラシム 彈丸體トノねぢ込ヲ容易ナラシム爲彈丸體トノ嵌合ねぢ部ノ端末ニ徑二七八粒、高サ五粒ノ圓錐部ヲ設ケ且製造統一ナラシム爲七山ヲ八山ト改ム 作業ヲ容易ナラシムル爲價管ねぢ付部ノねぢノ深サ一九・五粒ヲ内部ニ貫通スル如ク改ム 軸ヲホルトナツト式ニ改メ底金(外徑二〇粒、内徑一〇・五粒、厚サ一・五粒)ヲ增加シナツトハ上蓋ニ溝ヲ設ケ徑二粒、長サ二二粒ノ糊ビシヲ挿入ス	第四種		
彈丸	彈丸	彈丸	第四種				
吊環	底蓋	彈頭	第四種				

陸軍

17		類 番
炸藥 炸藥類		修 正 ス ヘ キ 名 稱
改ム ○軽ト上薬ノ徑三八輕ヲ四七・三輕ト 彈丸彈頭ノ修正ニヨリ高サ二三輕ヲ二	ル如ク改メ炸藥ヲ容易ナラシム	改 正 要 領
第四種		修 正 箇 分
		箇 分
		摘 要

日本標準規格 B-4

九二式五百瓦爆彈修正實施參考表

圖面 修正スヘキ 部品名稱	改 正 要 領	修 正 範 圍	實 施 區 分	摘 要
<p>18 彈丸 彈頭</p>	<p>信管ねぢ付部ノねぢノ深サ一九・五 耗ヲ内部ニ貫通スル如クねぢヲ切り 通シ作業ヲ容易ナラシム 彈丸體トノねぢ込ミヲ容易ナラシム ル爲彈丸體トノ嵌合ねぢ部ノ端末ニ 徑三五三耗、高サ五耗ノ圓溝部ヲ設 ク</p>	<p>第四種</p>		
<p>18 彈丸 底塞</p>	<p>作業ヲ容易ナラシム爲信管ねぢ付部 ノねぢノ深サ一九・五耗ヲ内部ニ貫 通スル如ク改ム</p>	<p>第四種</p>		
<p>(類) 18 彈丸 吊環</p>	<p>軸ヲボルトナツト式ニ改メ座金(外 徑二三耗、内徑一四・五耗、厚サ 一・五耗、厚サ一・五耗)ヲ増加シ ナツトハ上部ニ溝ヲ設ケ徑三耗、長 サ二八耗ノ削ピンヲ挿入スル如ク改</p>	<p>第四種</p>		

陸軍

<p>18</p>	<p>炸藥 炸藥類</p>	<p>修正スヘキ 業番品名辨</p>	<p>改正要領</p>	<p>メ作樂ヲ容易ナラシム</p>	<p>第九種</p>	<p>修正 實施 期 要</p>
<p>彈丸類ノ修正ニヨリ高サ二圓耗ヲ 二二耗ト上蓋ノ徑四二耗ヲ四八・七 耗ト改ム</p>						

日本標準規格 B-4



<p>九二式十五疋爆彈 九四式百疋爆彈 九二式五百疋爆彈</p>	<p>九四式五十疋爆彈 九二式二百五十疋爆彈</p>	<p>修正實施區分表</p>	<p>昭和 年 月 日 陸軍 陸軍 陸軍 陸軍 陸軍 陸軍</p>
<p>修正名稱 九二式十五疋爆彈(特) 九四式五十疋爆彈(特) 九四式百疋爆彈(特) 九二式二百五十疋爆彈(特) 九二式五百疋爆彈(特)</p>	<p>改正要領 別紙圖面ノ通改ム</p>	<p>修正範圍 第四種</p>	<p>實施區分 甲</p>

十二年式投下機發信管	傳 火 藥 筒	藥 炸			直 噴 燃 融	被 包 燃 融	
		(茶 福 藥)	第三炸藥	第二炸藥			第一炸藥
			茶福藥	若ハ			黄色藥
—	—		—	—	—	—	
				炸藥頭 座板 二、	彈 尾 一、	彈 頭 一、	
				座 柱 板 四、	接 續 筒 小 ね ぢ 一、	信 管 小 ね ぢ 三、	
				尾 吊 環 一、	接 續 筒 小 ね ぢ 一、	彈 頭 小 ね ぢ 一、	
						環(丁) 一、	

航空兵器細目名稱表(航空彈藥) 中修正表  
 一、九二式十五厘米爆彈ヲ左ノ通修正

(行番ヨリ覆メ如ク貼附ス)

陸  
軍

13 12 11 10 9 8 7 6 5

0856

	線
	透
	一
	管管ヲ繋着セサル場合ニ使用ス

日本標準規格 B-6

14

航空兵器細目名稱表（航空彈藥）中修正表

昭和 年 月 日  
陸普第 號改正

陸軍

主兵器名稱	葉番號	名稱	修正箇所	現行訂正	摘	要
九二式十五疋爆彈(特)					追加	九二式十五疋爆彈ノ次へ
九四式五十疋爆彈(特)					"	九四式五十疋……次へ
九四式百疋爆彈(特)					"	九四式百疋……次へ
九二式二百五十疋爆彈(特)					"	九二式二百五十疋……次へ
九二式五百疋爆彈(特)					"	九二式五百疋……次へ

## 九二式十五疋爆彈（特）概説

## 第一 用途

本彈ノ用途ハ九二式十五疋爆彈ニ同シ

## 第二 構造及機能

本彈ノ構造及機能ハ概ネ九二式十五疋爆彈ニ等シキモ炸藥トシテニ  
 號安瓦藥二疋一〇〇瓦及茶褐藥〇疋三一〇瓦ヲ熔融直填シ傳火藥ト  
 シテ硝字藥（パラフィンニ%入）五五瓦ヲ有スヲ異レリトス  
 主炸藥タル安瓦藥ハ吸濕性大ナルヲ以テ防濕ノ爲炸藥ト外氣ト接觸  
 スル虞アル部分ニ茶褐藥ヲ填實ス

## 第三 効力

本彈ノ効力ハ九二式十五疋爆彈ニ等シ

## 第四 取扱

本彈ノ取扱ニ際シテハ特ニ防濕ニ留意スルヲ要ス



0598

航空兵器細目名稱表(航空彈藥)(案)

九二式十五冠爆彈(特)

第一種

區分名稱			數量			細部ノ名稱數量及摘要		
彈	丸	彈						
			二號安瓦藥	二・一〇〇冠	一	體	一	
炸藥	茶	頭藥	〇・三一〇冠	一	彈頭	一	側吊環小ねぢ	
炸藥	二號安瓦藥	藥	二・一〇〇冠	一	環(甲)	一	側吊環小ねぢ	
傳火藥筒	筒		一	一	環(乙)	二三		
隔板	板		一	一	環(丙)	三		
十二年式投下發信管	管		一	一	環(丁)	一		
螺塞	塞		一	一	彈尾	一	側吊環小ねぢ	
					直填熔蝕	一	接續筒 底板 接續小ねぢ 支柱 尾吊環	

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

## 九二式十五瓦爆彈（特）概説

## 第一 用途

本彈ノ用途ハ九二式十五瓦爆彈ニ同シ

## 第二 構造及機能

本彈ノ構造及機能ハ概ネ九二式十五瓦爆彈ニ等シキモ炸藥トシテニ  
 號安瓦藥二瓦一〇〇瓦及茶燭藥〇瓦三一〇瓦ヲ熔融直填シ傳火藥ト  
 シテ硝字藥（<sup>三</sup>パラフィンニ%入）五五瓦ヲ有スヲ異レリトス  
 主炸藥タル安瓦藥ハ吸濕性大ナルヲ以テ防濕ノ爲炸藥ト外氣ト接觸  
 スル虞アル部分ニ茶燭藥ヲ填實ス

## 第三 効力

本彈ノ効力ハ九二式十五瓦爆彈ニ等シ

## 第四 取扱

本彈ノ取扱ニ際シテハ特ニ防濕ニ留意スルヲ要ス

1980

航空兵器細目名稱表(航空彈藥) (案)

九二式十五疋爆彈(特)

第一種

區分名稱		數量	細部ノ名稱數量及摘要							
彈丸	二號安瓦藥	二・一〇〇疋	體	環(甲)	環(乙)	環(丙)	環(丁)	彈頭	彈尾	直填熔融
	藥	〇・三二〇疋	一	一	二	二	一	一	一	
傳火藥筒	藥	一	備吊環小ねぢ	備吊環小ねぢ			備管小ねぢ	備管小ねぢ	接續筒	
隔板	藥	一					支柱	底板	尾吊環	
十二年式投下機發信管	塞	一								信管ヲ裝セサル場合ニ使用ス

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1



## 九四式五十疋爆彈（特）概説

## 第一 用途

本彈ノ用途ハ九四式五十疋爆彈ニ同シ

## 第二 構造及機能

本彈ノ構造及機能ハ概ネ九四式五十疋爆彈ニ等シキモ炸藥トシテ二號安瓦藥一六疋一八〇瓦及茶褐藥四疋二二〇瓦ヲ熔融直填シ傳火藥トシテ硝字藥（パラフィンニ％入）五五瓦補助傳火藥トシテ硝字藥（パラフィンニ％入）三五瓦ヲ有スルヲ異レリトス

主炸藥タル二號安瓦藥ハ吸濕性大ナルヲ以テ防濕ノ爲炸藥ト外氣トノ接觸スル處アル部分ニ茶褐藥ヲ填實ス

## 第三 効力

本彈ノ効力ハ九四式五十疋爆彈ニ等シ

## 第四 取扱

本彈ノ取扱ニ際シテハ特ニ防濕ニ留意スルヲ要ス



航空兵器細目名稱表(航空彈藥)(集)

九四式五十疋爆彈(特)

第一種

區分名稱		數量	細部ノ名稱數量及摘要
彈丸	彈丸	一	體一吊環一 彈頭一 彈頭信管小ねぢ一 彈尾一 底塞一 彈底信管小ねぢ三 支板一
炸藥	二號安瓦藥	一六・一八〇疋	直填熔融
座環	座環	四・二二〇疋	
傳火藥筒	傳火藥筒	一	座褥一
補助傳火藥筒	補助傳火藥筒	一	
隔板	隔板	一	
九三式投下二働信管	九三式投下二働信管	一	
十二年式投下彈底信管	十二年式投下彈底信管	一	
彈頭塞	彈頭塞	一	
彈底塞	彈底塞	一	信管ヲ裝セサル場合ニ使用ス

13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1



九四式五十疋爆彈（特）概説

第一 用途

本彈ノ用途ハ九四式五十疋爆彈ニ同シ

第二 構造及機能

本彈ノ構造及機能ハ概ネ九四式五十疋爆彈ニ等シキモ炸藥トシテ二號安瓦藥一六疋一八〇瓦及茶褐藥四疋二二〇瓦ヲ熔融直填シ傳火藥トシテ硝字藥（パラフィン二%入）五五瓦補助傳火藥トシテ硝字藥（パラフィン二%入）三五瓦ヲ有スルヲ異レリトス

主炸藥タル二號安瓦藥ハ吸濕性大ナルヲ以テ防濕ノ爲炸藥ト外氣トノ接觸スル處アル部分ニ茶褐藥ヲ填實ス

第三 効力

本彈ノ効力ハ九四式五十疋爆彈ニ等シ

第四 取扱

本彈ノ取扱ニ際シテハ特ニ防濕ニ留意スルヲ要ス



航空兵器細目名稱要(航空彈藥)(案)

九四式五十斤爆彈(特)

第一種

區分名稱		數量	細部ノ名稱數量及摘要
彈丸	彈丸	一	體一 吊環一 彈頭一 彈頭信管小ねぢ一 彈尾一 翼底塞一 彈底信管小ねぢ三 支板一
炸藥	二號安瓦藥	一六・一八〇斤	直填熔融
座環	茶桶藥	四・二三〇斤	
傳火藥筒	傳火藥筒	一	座褥一
補助傳火藥筒	補助傳火藥筒	一	
隔板	九三式投下二働信管	一	
十二年式投下彈底信管	十二年式投下彈底信管	一	
彈頭塞	彈頭塞	一	
彈底塞	彈底塞	一	信管ヲ裝セサル場合ニ使用ス

13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1



## 九四式百疋爆彈（特）概説

## 第一 用途

本彈ノ用途ハ九四式百疋爆彈ニ同シ

## 第二 構造及機能

本彈ノ構造及機能ハ概ネ九四式百疋爆彈ニ等シキモ炸藥トシテ二號安瓦藥三九疋三〇〇瓦及茶褐藥四疋九〇〇瓦ヲ熔融直填シ傳火藥トシテ硝字藥（パラフィンニ％入）五五瓦補助傳火藥トシテ硝字藥（パラフィンニ％入）三五瓦ヲ有スルヲ異レリトス

主炸藥タル二號安瓦藥ハ吸濕性大ナルヲ以テ防濕ノ爲炸藥ト外氣トノ接觸スル虞アル部分ニ茶褐藥ヲ填實ス

## 第三 効力

本彈ノ効力ハ九四式百疋爆彈ニ等シ

## 第四 取扱

本彈ノ取扱ニ際シテハ特ニ防濕ニ留意スルヲ要ス



航空兵器細目名稱表（航空彈藥）（案）

九四式百疋炸彈（特）

第一種

區分名稱		數量	細部ノ名稱數量及摘要
彈丸	彈丸	—	體 一 吊環 一 彈頭 一 彈頭信管小ねち 一 彈頭小ねち 一 彈尾 一 底蓋 一 彈底信管小ねち 一 翼 一 前部支板 一 後部支板 一
炸藥	二號安瓦藥	三九・三〇〇疋	直坂 熔 融
座環	座環	四・九〇〇疋	
傳火藥筒	傳火藥筒	—	座褥 一
補助傳火藥筒	補助傳火藥筒	—	
隔板	隔板	—	
九三式投下二働信管	九三式投下二働信管	—	
十二年式投下彈底信管	十二年式投下彈底信管	—	
彈頭螺塞	彈頭螺塞	—	
彈底螺塞	彈底螺塞	—	信管ヲ裝セサル場合ニ使用ス

13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1



## 九四式百粒爆彈（特）概説

## 第一 用途

本彈ノ用途ハ九四式百粒爆彈ニ同シ

## 第二 構造及機能

本彈ノ構造及機能ハ概ネ九四式百粒爆彈ニ等シキモ炸藥トシテ二號安瓦藥三九粒三〇〇瓦及茶褐藥四粒九〇〇瓦ヲ熔融直填シ傳火藥トシテ硝字藥（パラフィンニ％入）五五瓦補助傳火藥トシテ硝字藥（パラフィンニ％入）三五瓦ヲ有スルヲ異レリトス

主炸藥タル二號安瓦藥ハ吸濕性大ナルヲ以テ防濕ノ爲炸藥ト外氣トノ接觸スル處アル部分ニ茶褐藥ヲ填實ス

## 第三 効力

本彈ノ効力ハ九四式百粒爆彈ニ等シ

## 第四 取扱

本彈ノ取扱ニ際シテハ特ニ防濕ニ留意スルヲ要ス



航空兵器細目名簿表(航空彈藥)(案)

九四式百斤炸彈(特)

第一種

區分名簿		數量	細部ノ名稱數量及摘要
彈丸	炸藥	—	彈丸 一 彈頭 一 彈頭備管小ねぢ 一 彈頭小ねぢ 一 彈尾 一 底蓋 一 彈底備管小ねぢ 一 裏 一 前部支板同後部支板同 直噴 燒融
座環	傳火藥筒	—	座環 一
補助傳火藥筒	隔板	—	補助傳火藥筒 一
九三式投下二働信管	十二年式投下彈底信管	—	信管ヲ裝セサル場合ニ使用ス
彈頭螺塞	彈底螺塞	—	

13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1





## 九二式二百五十疋爆彈（特）概説

## 第一 用途

本彈ノ用途ハ九二式二百五十疋爆彈ニ同シ

## 第二 構造及機能

本彈ノ構造及機能ハ概ネ九二式二百五十疋爆彈ニ等シキモ炸藥トシテ二號安瓦藥九一疋六〇〇瓦及茶褐藥七疋三六〇瓦ヲ熔融直填シ補助傳火藥トシテ硝字藥（パラフィンニ入）四〇瓦ヲ有スルヲ異レリトス

主炸藥タル二號安瓦藥ハ吸濕性大ナルヲ以テ防濕ノ爲炸藥ト外氣トノ接觸スル虞アル部分ニ茶褐藥ヲ填實ス

## 第三 効力

本彈ノ効力ハ九二式二百五十疋爆彈ニ等シ

## 第四 取扱

本彈ノ取扱ニ際シテハ特ニ防濕ニ留意スルヲ要ス

航空兵器細目名稱表（航空彈藥）（案）  
九二式二百五十疋爆彈（特）

第一種

彈	彈	九二式投下大彈底信管	九二式投下大彈頭信管	隔板	補助傳火藥筒	藥	炸	彈丸	數	量	細部ノ名稱數量及摘要
						茶	二號安瓦藥				
底塞	頭塞					七・三六〇疋	九一・六〇〇疋	一			體 → 吊環 一
					座褥 一	直填 熔融	彈尾 → 底塞 一 支 彈底信管 小ねぢ 八	彈頭 → 彈頭信管 小ねぢ 二			
											信管ヲ裝セサル場合ニ使用ス
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	



## 九二式二百五十疋爆彈（特）概説

## 第一 用途

本彈ノ用途ハ九二式二百五十疋爆彈ニ同シ

## 第二 構造及機能

本彈ノ構造及機能ハ概ネ九二式二百五十疋爆彈ニ等シキモ炸藥トシテ二號安瓦藥九一疋六〇〇瓦及茶褐藥七疋三六〇瓦ヲ熔融直填シ補助傳火藥トシテ硝字藥（パラフィンニ％入）四〇〇瓦ヲ有スルヲ異レリトス

主炸藥タル二號安瓦藥ハ吸濕性大ナルヲ以テ防濕ノ爲炸藥ト外氣トノ接觸スル處アル部分ニ茶褐藥ヲ填實ス

## 第三 効力

本彈ノ効力ハ九二式二百五十疋爆彈ニ等シ

## 第四 取扱

本彈ノ取扱ニ際シテハ特ニ防濕ニ留意スルヲ要ス



航空兵器細目名稱表（航空彈藥）（案）  
九二式二百五十粒爆彈（特）

第一種

區分名稱		數量		細部ノ名稱數量及摘要	
彈丸	二號安瓦藥	九一・六〇〇粒	一	體 → 吊環 → 彈頭 → 彈頭信管小ねぢ → 彈尾 → 底蓋 → 彈底信管小ねぢ → 翼 → 支 → 八	直填 炸 融
藥	茶 補 藥	七・三六〇粒	一	座 褥 →	應 褥 →
隔	板	二	二		
九二式投下大彈頭信管		一	一		
九二式投下大彈底信管		一	一		
彈頭 螺 塞		一	一		
彈底 螺 塞		一	一		信管ヲ裝セサル場合ニ使用ス

11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1



## 九二式五百疋爆彈（特）概説

## 第一 用途

本彈ノ用途ハ九二式五百疋爆彈ニ同シ

## 第二 構造及機能

本彈ノ構造及機能ハ概ネ九二式五百疋爆彈ニ等シキモ炸藥トシテ二號安瓦藥一九八疋四〇〇瓦及茶褐藥一一疋三一〇瓦ヲ熔融直填シ補助傳火藥トシテ確字藥（パラフィンニ%入）四〇瓦ヲ有スルヲ異レリトス

主炸藥タル二號安瓦藥ハ吸濕性大ナルヲ以テ防濕ノ爲炸藥ト外氣トノ接觸スル虞アル部分ニ茶褐藥ヲ填實ス

## 第三 効力

本彈ノ効力ハ九二式五百疋爆彈ニ等シ

## 第四 取扱

本彈ノ取扱ニ際シテハ特ニ防濕ニ留意スルヲ要ス



航空兵器細目名稱表（航空彈藥）（案）  
九二式五百疋爆彈（特）

第一種

區分名稱		數量	細部ノ名稱數量及摘要
彈丸	彈丸	一	體一 吊環一 彈頭一 彈頭信管小ねぢ一 彈尾一 底塞一 彈底信管小ねぢ一 翼一 支一 柱一
炸藥	二號安瓦藥	五八・四〇〇疋	直填 熔融
藥茶	楊藥	一一・三一〇疋	
補助傳火藥筒		一	座褥一
隔板		一	
九二式投下大彈頭信管		一	
九二式投下大彈底信管		一	
彈頭螺塞		一	
彈底螺塞		一	信管ヲ裝セサル場合ニ使用ス

11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

九二式五百疋爆彈（特）概説

第一 用途

本彈ノ用途ハ九二式五百疋爆彈ニ同シ

第二 構造及機能

本彈ノ構造及機能ハ概ネ九二式五百疋爆彈ニ等シキモ炸藥トシテ二號安瓦藥一九八疋四〇〇瓦及茶褐藥一一疋三一〇瓦ヲ熔融直填シ補助傳火藥トシテ硝字藥（パラフィンニ％入）四〇瓦ヲ有スルヲ異レリトス

主炸藥タル二號安瓦藥ハ吸濕性大ナルヲ以テ防濕ノ爲炸藥ト外氣トノ接觸スル虞アル部分ニ茶褐藥ヲ填實ス

第三 効力

本彈ノ効力ハ九二式五百疋爆彈ニ等シ

第四 取扱

本彈ノ取扱ニ際シテハ特ニ防濕ニ留意スルヲ要ス

航空兵器細目名稱表(航空彈藥) (案)  
九二式五百瓦炸彈(特)

第一種

區分名稱		數量	細部ノ名稱數量及摘要
彈丸	彈丸	—	體一吊環一 彈頭一 彈頭信管小ねぢ 彈尾一 彈頭小ねぢ 底蓋一 彈底信管小ねぢ 支一 彈底信管小ねぢ 八
炸藥	二號安瓦藥	一	直填熔融
補助傳火藥筒	茶褐藥	—	座褥一
隔板	九二式投下大彈頭信管	—	
九二式投下大彈頭信管	九二式投下大彈底信管	—	
彈頭螺塞	彈底螺塞	—	信管ヲ裝セサル場合ニ使用ス

11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1



士官校ハ  
砲監ニモ  
スルニ  
テ

航空彈藥假制式圖中改正ノ件  
配賦表

昭和 年 月 日  
配布數 一六部 殘入四部

陸軍造兵廠	陸軍兵器本廠	教育總監部	參謀本部			兵器局	整備局	兵務局	軍務局	官房	廳名
五 二	一〇	四				一					內 譯
本部 東工 火工 名工 大工 小工 平製	本廠 支廠 (東、名、大、岡、東檢、千、廣、小、大檢)	本部長一騎監 砲監 工監 輜監 野校 戰車 防校 重校 工校 砲工一步校 豫士一自校 通校 教校 (一) 習校 歩兵校一	次長 大學校			銃砲一機械	戰備 整備	兵務 防備	軍事 軍務		
航空兵團	憲兵司令部	關東軍	臺灣軍	朝鮮軍	侍從武官府	陸軍經理學校	陸軍運輸部	陸軍築城部本部	陸軍航空本部	陸軍技術本部	廳名
三		五						一	三五	七二	內 譯
司令部 參謀長 飛行團 飛聯		幕僚 兵器 要塞 飛聯 要案 派師幕 派師兵	幕僚 兵器 要塞	幕僚 要塞			本部 出張所 (神、門、釜、大、大治、基、元、清)	本部 支部 (橫、豊、津、壺、對、鎮)	本部 支隊 (下、關、熊、濱、明) 水、技校 一 航技研 支隊 (一、二、三、四、五) 航空廠 (本廠一 支廠 (立、齊、平、原、冬))	本部 科研 工科校	

第十二師團	第十一師團	第十師團	第九師團	第八師團	第七師團	第六師團	第五師團	第四師團	第三師團	第二師團	第一師團	近衛師團	應名
幕僚 兵器 要塞	幕僚 兵器	幕僚 兵器	幕僚 兵器	幕僚 兵器	幕僚 兵器 要塞	幕僚 兵器 要塞	幕僚 兵器	幕僚 兵器 要塞	幕僚 兵器 豊田	幕僚 兵器 高田	幕僚 兵器 要塞	幕僚 兵器	内 譯
													應名
						第二飛行集團	第三飛行集團	陸軍工科學校	第二十師團	第十九師團	第十六師團	第十四師團	内 譯
						一	一	一	幕僚 兵器 要塞	幕僚 兵器 要塞	幕僚 兵器 要塞	幕僚 兵器	


航空兵器細目名稱表(航空彈藥)中修正表				配賦表			
應名	房	內	譯	應名	房	內	譯
陸軍造兵廠	・二六	本部一東工五火工五名工五火工五小工五平製		航空兵團	・四四	兵(各)司令部參謀長飛行團五飛機隊八隊六八八隊機隊四	
陸軍兵器本廠	・二〇	本廠四支廠(東三名二大二岡東檢一干廣二小二)大檢一		憲兵司令部	・三一	飛聯 要塞 派師幕 派師兵	
教育總監部	・五	本部四支廠(東三名二大二岡東檢一干廣二小二)大檢一		臺 灣 軍	・一	幕僚 兵器 要塞	
參謀本部	・三	本部一 大學校(一)		朝 鮮 軍	・一	幕僚 要塞	
				侍從武官府	・一		
				陸軍經理學校	・一		
兵器局	・三	銃砲二 機械一		陸軍運輸部	・九	本部一出張所(神、門、釜、大) 大沽、基、元、清	
整備局	・二	戰備一 整備一		陸軍築城部本部	・一	本部 支部(横、豊、津、盛) 對、鎮	
兵務局	・二	兵務一 防備一		陸軍航空本部	・六三	航空廠 本廠 支廠(立、各、平、屏)	
軍務局	・一	軍事一 軍務		陸軍技術本部	・一九	本部 飛校(下、關、熊、濱、明)	
官房	・二			航空總監部	・一九	本部 四 科研一 工科校二	

航空兵器細目名稱表(航空彈藥)中修正表 配賦表

昭和年月 日。部印刷  
配布數 三三八部 殘 六二部

應名	內	譯	應名	內	譯
近衛師團	幕僚 兵器		第十四師團	幕僚 兵器	
第一師團	幕僚 兵器 要塞		第十六師團	幕僚 兵器 要塞	
第二師團	幕僚 兵器 高出		第十九師團	幕僚 兵器 要塞	
第三師團	幕僚 兵器 豊出		第二十師團	幕僚 兵器 要塞	
第四師團	幕僚 兵器 要塞		第一飛行集團	兵器 新隊一八 教育隊八	
第五師團	幕僚 兵器		第三飛行集團	兵器 新隊二六 教育隊一〇	
第六師團	幕僚 兵器 要塞		北支方面軍		
第七師團	幕僚 兵器 要塞		中支那派遣軍		
第八師團	幕僚 兵器				
第九師團	幕僚 兵器				
第十師團	幕僚 兵器				
第十一師團	幕僚 兵器				
第十二師團	幕僚 兵器 要塞				

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="624 461 1209 779"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	4	5	6	1	2	3
4	5	6					
1	2	3					
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年12月9日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>							

0882

0883

0880

BOX

0884

0883

503






9880

9880

0887

0880

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="564 434 1139 748"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	4	5	6	1	2	3
4	5	6					
1	2	3					
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年12月9日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>							

8880

6880

8880

0680

6880

1080




0892

1020

0893

0892

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="630 436 1204 750"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	4	5	6	1	2	3
4	5	6					
1	2	3					
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>							

7680

5680

7680

9680

5680

6680

180


6680



5680

5680

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="587 448 1173 761"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	4	5	6	1	2	3
4	5	6					
1	2	3					
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>							

0060

~~0904~~

~~0905~~

1960

0995

0060

0902

1060

0905

8060

~~0901~~

~~0902~~

7060

0900

8060

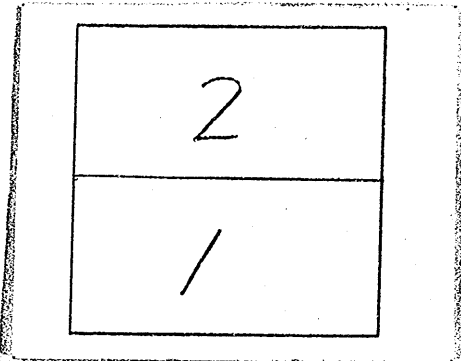

5060

7060

0900



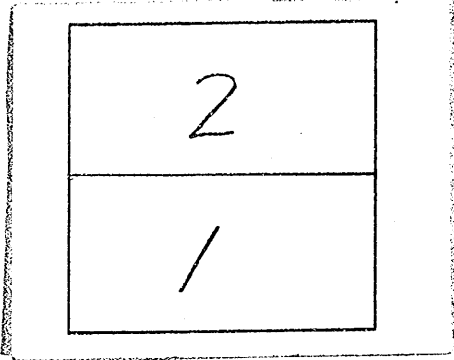

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年12月9日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	






# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	



6060

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="603 465 1161 763"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	4	5	6	1	2	3
4	5	6					
1	2	3					
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>							

0160



1160

0160

2160

1160

茶福葉(西塩焙煎) 場合不明  
〃

8160


0914

0913

5160

5160

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="528 434 1114 752"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	4	5	6	1	2	3
4	5	6					
1	2	3					
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため						
上記のとおり分割撮影したことを 証明する  5年12月9日  主務者又は  撮影立会者 加部東 保夫 							

9160

0920

0921

6169

0919

9160



8160

6169

0919

6160

0917

0918

0920

0916

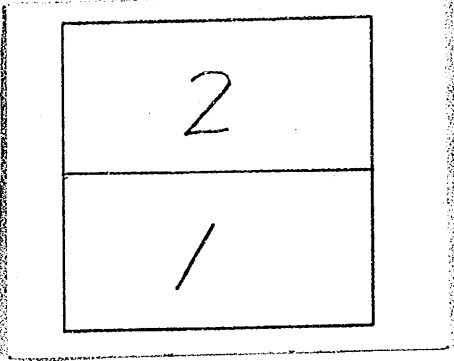

6160

0921

0920

0916


# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 12 月 9 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

0922

0923

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="571 443 1145 757"><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	4	5	6	1	2	3
4	5	6					
1	2	3					
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため						
上記のとおり分割撮影したことを 証明する  5年12月9日  主務者又は  撮影立会者 加部東 保夫 							



0924

0928

0929

1500

~~0927~~

6260

5250

~~0927~~

6560

0925

茶名簿(五塔)の場合は但册

0926

0928

0924

0929

0929

0928

0924